

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2015-511911

(P2015-511911A)

(43) 公表日 平成27年4月23日 (2015.4.23)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 85/10 (2006.01)	B 6 5 D 85/10	3 E 0 6 0
B 6 5 D 77/04 (2006.01)	B 6 5 D 77/04	D 3 E 0 6 7
B 6 5 D 5/66 (2006.01)	B 6 5 D 5/66	3 2 1 B 3 E 0 6 8
B 6 5 D 75/60 (2006.01)	B 6 5 D 75/60	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 19 頁)

(21) 出願番号	特願2014-557026 (P2014-557026)	(71) 出願人	596060424 フィリップ・モーリス・プロダクツ・ソシ エテ・アノニム スイス国セアシュール 2000 ヌシャテル 、ケ、ジャンルノー 3
(86) (22) 出願日	平成25年2月13日 (2013.2.13)	(74) 代理人	100092093 弁理士 辻居 幸一
(85) 翻訳文提出日	平成26年8月13日 (2014.8.13)	(74) 代理人	100082005 弁理士 熊倉 禎男
(86) 国際出願番号	PCT/EP2013/052905	(74) 代理人	100067013 弁理士 大塚 文昭
(87) 国際公開番号	W02013/120913	(74) 代理人	100086771 弁理士 西島 孝喜
(87) 国際公開日	平成25年8月22日 (2013.8.22)	(74) 代理人	100109070 弁理士 須田 洋之
(31) 優先権主張番号	12155617.9		
(32) 優先日	平成24年2月15日 (2012.2.15)		
(33) 優先権主張国	欧州特許庁 (EP)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 容器のための補強された再シール可能な内側包装体

(57) 【要約】

【課題】再シール可能な内側包装体を備えた消費者商品用容器に関し、該内側包装体に補強要素を設けた容器を提供する。

【解決手段】本発明は、消費者商品用容器 (100) に関する。容器は、箱 (102) 及び蓋 (104) を含む外側ハウジングを含む。該容器は、該外側ハウジング内の、消費者商品を取り出すことができるようにする取出し開口を有する消費者商品の内側包装体 (106) と、該内側包装体内の内側フレーム (112) と、内側包装体の取出し開口を覆い、内側包装体の取出し開口の周縁を越えて延びた粘着ラベル (108) とを更に含み、該粘着ラベル (108) は、剥離可能な粘着剤によって、内側包装体 (106) の外面に少なくとも部分的に剥離可能に貼り付けられる。内側包装体の内面の少なくとも一部分は、貼付手段を用いて、内側フレームの外面の対応する部分に永久的に貼り付けられる。

【選択図】 図 1

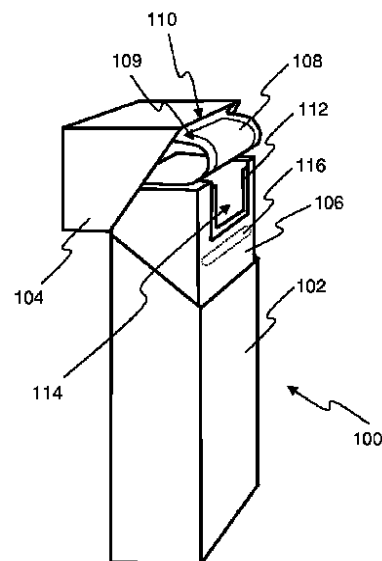


Figure 1

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

箱と、
蓋と、
を含む外側ハウジング、
前記外側ハウジング内の、消費者商品を取り出すことができるようにする取出し開口を有する、消費者商品の内側包装体、
前記内側包装体内の内側フレーム、及び
前記内側包装体の前記取出し開口を覆い、該内側包装体の該取出し開口の周縁を越えて延びた粘着ラベル、
を含み、
前記粘着ラベルが、剥離可能な粘着剤によって前記内側包装体の外面に少なくとも部分的に剥離可能に貼り付けられるように構成された消費者商品用容器であって、
前記内側包装体の内面の少なくとも一部分が、貼付手段を用いて、前記内側フレームの外面の対応する部分に永久的に貼り付けられた、
ことを特徴とする消費者商品用容器。

10

【請求項 2】

前記内側包装体の前記内面の前記少なくとも一部分が、前記取出し開口からの距離が前記開口から該内側包装体の底部までの距離の 30% より小さくなるところ、好ましくは約 20% より小さくなるところ、より好ましくは約 10% より小さくなるところに設けられたことを特徴とする請求項 1 に記載の容器。

20

【請求項 3】

前記貼付手段が、細長いものであり、該貼付手段の主軸が横方向になるように方向付けられたことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 2 のいずれかに記載の容器。

【請求項 4】

複数の離間した貼付手段を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれかに記載の容器。

【請求項 5】

前記内側フレームが U 形状であり、前壁と一对の対向する側壁とを有することを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれかに記載の容器。

30

【請求項 6】

前記内側フレームの前記前壁が、前記内側包装体の前壁に隣接して設けられたことを特徴とする請求項 5 に記載の容器。

【請求項 7】

前記内側包装体の後方壁の外面の少なくとも一部分が、前記箱の後方壁の内面の対応する部分に永久的に貼り付けられたことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 6 のいずれかに記載の容器。

【請求項 8】

前記内側包装体の内面の少なくとも一部分が、以下の貼付手段、即ち、ホットメルト接着剤、溶剤型接着剤、水性接着剤、無溶剤接着剤、感圧性接着剤、導電型シーリング、及び誘導型シーリングのうちの少なくとも 1 つを用いて永久的に貼り付けられたことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 7 のいずれかに記載の容器。

40

【請求項 9】

前記貼付手段が、前記内側フレームの前壁の外面上に設けられたことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 8 のいずれかに記載の容器

【請求項 10】

前記貼付手段が、前記内側包装体の前壁の内面上に設けられたことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 9 のいずれかに記載の容器

【請求項 11】

前記内側包装体の前壁の外面の少なくとも一部分が、前記箱の前壁の内面の対応する部

50

分に永久的に貼り付けられたことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 10 のいずれかに記載の容器。

【請求項 12】

前記内側包装体の前記取出し開口が、該内側包装体における 1 又はそれ以上の破断線によって定められることを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 11 のいずれかに記載の容器。

【請求項 13】

前記粘着ラベルが、前記 1 又はそれ以上の破断線によって境界を定められた前記内側包装体の外面の一部に永久的に貼り付けられたことを特徴する請求項 12 に記載の容器。

【請求項 14】

前記粘着ラベルが、前記蓋の前壁の内面に永久的に取り付けられ、該蓋が開いたときに該粘着ラベル剥がれて取出し開口が現れるようにされたことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 13 のいずれかに記載の容器。

10

【請求項 15】

前記消費者商品が喫煙用品であることを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 14 のいずれかに記載の容器。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、再シール可能な内側包装体を備えた消費者商品用容器に関し、該内側包装体は補強要素を有する。該容器は、特に、紙巻煙草のような細長い喫煙用品のための容器としての用途を有するものである。

20

【背景技術】

【0002】

紙巻煙草及び葉巻などの喫煙用品は、一般的に、剛性のヒンジ蓋付き容器内に収められており、この容器は、箱と、容器の後部壁を横切る方向に延びるヒンジ線の回りで該箱に連結された蓋とを有する。この種のヒンジ蓋付き容器は、一般的に、一枚の薄層状の厚紙素材片から構成される。使用時には、該蓋がヒンジ線回りにピボット回転されて容器が開かれ、箱に収納されている喫煙用品の束に触れることができるようになる。

【0003】

箱に収納されている喫煙用品の束は、典型的には、金属被覆された紙材、金属箔、その他の柔軟なシート材料からなる内側ライナーにより包装される。該内側ライナー内の喫煙用品束に触れるためには、消費者は、典型的には、先ずヒンジ蓋付の容器を開けて、予め連続穴を設けた内側ライナーの上側部分を取り除いて捨てなければならない。

30

【0004】

しかし、例えば空気、湿気、香味及び臭気の入りに対する改善された保護を与えるために、喫煙用品の束を再シールが可能で実質的に気密性の包装材により包むことも知られている。

【0005】

例えば特許文献 1 は、取出し開口が形成されたバリアー材料の層からなるシールされた包装体内に喫煙用品が包まれたヒンジ蓋付の喫煙用品包装パックを開示する。取出し開口は永久的な接着性をもつカバー層により覆われており、該カバー層は、最初に該開口を開いた後にバリアー材料層に係合させて、包装体を再シールすることができる。シールされた包装体には、喫煙用商品とバリアー材料の層との間にフレームが設けられ、良好な再シールのために、このフレームにカバー層が押しつけられる。シールされた包装体を開けること及び再び開けることを補助するために、カバー層の底縁部に非接着性タブが設けられる。

40

【0006】

特許文献 2 もまた、カバーフラップにより閉じられる取出し開口をもつ内側包装体内に喫煙用品が収められた喫煙用品のヒンジ蓋付きパックを開示しており、該カバーフラップは、該カバーフラップの下側に塗布された不乾燥性の再貼付粘着剤を用いて内側包装体に

50

固定される。該カバー層の底タブの内面又は外面が、ヒンジ蓋付きバックの蓋に取外し不能に永久的に接着され、蓋の開閉によりカバーフラップも同時に開閉される。

【0007】

既知の喫煙用品容器のカバー層又はフラップを閉じるとき、カバーを再貼付するために必要な圧力は、内側包装体の変形を引き起こすことがあり、カバーと内側包装体との間に十分なシールをもたらさないことがある。

【0008】

特許文献3は、カップ形状の外側容器と、シールされた内側包装体とを有する、ヒンジ蓋付きパケットを開示する。シールされた内側包装体は、紙巻煙草の群を収容しており、その前側上部に紙巻煙草取出し用の中央開口を有し、この取出し開口が、再び閉じることが可能なシーリングパネルによって閉じられる。このパケットは、内側包装体に糊付けされた、該内側包装体の回りで折り曲げられて該内側包装体の上部分を少なくとも部分的に覆う、剛性のカラーを含む。取出し開口を閉じるための再び閉じることが可能なシーリングパネルは、該カラーの上に配置され、その内面には再貼付接着剤が塗られている。シーリングパネルは、取出し開口が閉じられているときにはカラーに付着している。

10

【0009】

シーリングパネルが閉じられているとき、内側包装体自体がシールされるのではなくシーリングパネルがカラーに剥離可能に貼り付けられるので、内側包装体のシールはあまり効率的ではない。

【0010】

特許文献4は、ヒンジ蓋付き箱と、該ヒンジ蓋付き箱の内側のシールされたブロック形状の内側包装体とを含む、さらに別の紙巻煙草バックを開示する。内側包装体は、C形状の内側フレームを囲む内側シートを含み、該C形状内側フレームが紙巻煙草の束を囲む。内側シートは、内層と外層とを含む。内側包装体は、その上端に取出し開口を有し、かつ、該取出し開口を閉じる、内側シートの内層から形成された開封用タブを有する。内側シートの外層から形成された操作用タブが、該開封用タブの上に重ねられて貼り付けられている。操作用タブは、開封用タブよりも大きく、開封用タブ及び取出し開口を三方の側で越えて延びており、U形状のシーリングストリップを形成する。取出し開口は、U形状のシーリングストリップに沿った永久的な接着剤によって製造者によってシールされる。このシールを破るために、使用者は、操作用タブの糊付けされていない部分を引っ張る。

20

30

【0011】

特許文献4の開封用タブは、再び閉じることができるが、再シール可能ではないので、内側包装体が紙巻煙草を保護する効率を低下させる。

【0012】

特許文献5は、カラーを含み、丸みをもった縦方向縁部を有するヒンジ蓋付きバックを開示する。カラーは、バックの前パネルの内側に接着剤で接続されている。カラーの一部は、バックから上方に突き出し、外方に向けられた変形部を有しているので、バック部分の輪郭からわずかに横方向に突き出している。蓋が閉じられたとき、蓋の側部パネルの内面がカラーと接触して圧力が高められ、これにより摩擦が増大することになる。

40

【0013】

特許文献5は、バックの内容物をシールして保護するための内側包装体を開示しておらず、バックが内容物を保護する効率を低下させる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0014】

【特許文献1】欧州特許出願公開第944,539号明細書

【特許文献2】国際公開第2008/142,540号

【特許文献3】欧州特許第2,366,637号明細書

【特許文献4】国際公開第2001/009520号

【特許文献5】欧州特許第0,650,907号明細書

50

【発明の概要】

【0015】

本発明の第一の態様によれば、外側ハウジングを含む、消費者商品用容器が提供される。該外側ハウジングは、箱と蓋とを含む。該容器は、更に、該外側ハウジング内に、消費者商品を取り出すことができるようにする取出し開口を有する、消費者商品の内側包装体を含む。容器は、更に、該内側包装体内の内側フレームと、粘着ラベルとを含み、該粘着ラベルは、内側包装体の取出し開口を覆い、内側包装体の取出し開口の周縁を越えて延びる。粘着ラベルは、剥離可能な粘着剤によって、内側包装体の外面に少なくとも部分的に剥離可能に貼り付けられる。内側包装体の内面の少なくとも一部分は、貼付手段を用いて、内側フレームの外面の対応する部分に永久的に貼り付けられる。

10

【0016】

“内面”という用語は、本明細書全体を通じて、組み立てられ容器が閉位置にあるときに該容器の内部の方に、例えば消費者商品の方に面した、該容器の構成要素の表面のことを意味するように用いられる。同様に、“外面”という用語は、本明細書全体を通じて、容器の外部の方に面した容器の構成要素の表面のことを意味するように用いられる。例えば、内側フレームは、容器の外側ハウジングに面した外面と、容器の内側包装体に面した内面とを含む。内側又は外側面は、必ずしも容器の組立てに用いられる素材片の特定の側と等しいわけではないことに留意すべきである。素材片を消費者商品の回りで折り曲げる仕方に応じて、容器の同じ側の領域が、容器の内側に面する場合、外側に面する場合のどちらもあり得る。

20

【0017】

内側包装体の外面の部分を内側フレームの内面の対応する部分に永久的に貼り付けるための貼付手段を設けることにより、内側フレームと貼付手段との組合せが、粘着ラベルと内側包装体との間にシールを形成するために必要な力により抵抗することができるより構造的に弾性の内側包装体を提供するので、より確実にシールされた内側包装体をもたらす容器を提供することができる。従って、部分的に剥離可能に貼り付けられた粘着ラベルが、より構造的に弾性の内側包装体と協働して、粘着ラベルと内側包装体の外面との間に改善されたシールを形成するので有利である。従って、改善された閉じ品質を備えた容器が提供される。

【0018】

第一の好ましい実施形態において、容器の外側ハウジングは、箱と、容器の後方壁を横切って延びるヒンジ線にそって箱にヒンジ付けされた蓋とを含む。

30

【0019】

この好ましい実施形態において、粘着ラベルは、蓋の前壁の内面に永久的に貼り付けることができ、蓋を開けると粘着ラベルが剥がされて、取出し開口が現れるようになっている。そのため、使用者が陽気の蓋を開けたとき、粘着ラベルが自動的に開けられて取出し開口を現し、使用者が蓋を閉めたとき、粘着ラベルが自動的に閉じられて取出し開口を再シールする。内側包装体の構造的弾性を改善する貼付手段を設けることにより、シール性が改善された自動的に開く容器が提供される。

【0020】

内側包装体の内面の少なくとも一部分は、取出し開口からの距離が、開口から内側包装体の底部までの距離の約30%より小さくなるところに設けられることが好ましい。内側包装体の内面の少なくとも一部分は、取出し開口からの距離が、開口から内側包装体の底部までの距離の約20%より小さくなるところに設けられることが、より好ましい。内側包装体の内面の少なくとも一部分は、取出し開口からの距離が、開口から内側包装体の底部までの距離の約10%より小さくなるところに設けられることが、さらになお好ましい。

40

【0021】

内側包装体の内面の少なくとも一部が内側包装体の開口に近づくほど、粘着ラベルの領域での内側包装体の剛性がより向上する。これは、その後で粘着ラベルによって内側包装

50

体を再び閉じる性能を顕著に改善する。これは、内側包装体がもはや完全に満たされていないときに特に重要である。内側包装体が完全に満たされているか又は少なくとも実質的に満たされている間は、消費者商品が、粘着ラベルを再び閉じるためのある程度の裏からの支えを内側包装体にもたらす。ひとたび内側包装体が空になるとこの支えが無くなり、内側包装体材料の剛性に依じて、粘着ラベル又は内側包装体が変形して、ラベルと内側包装体との間に効率的なシールが設けられなくなる場合がある。本発明による容器においては、内側フレームの外面上に取り付けられた内側包装体の内面の少なくとも一部の位置が内側包装体の開口の近くにあることにより、この不利点が回避される。

【 0 0 2 2 】

貼付手段は細長いものであり、該貼付手段の主軸が横方向になるように方向付けられることが好ましい。貼付手段は、内側フレームのほぼ全幅にわたって延びるものとすることができ、又は、代替的に、内側フレームの幅の約 90 % にわたって、又は内側フレームの幅の約 80 % にわたって延びるものとすることができる。

10

【 0 0 2 3 】

代替的な実施形態において、貼付手段は、細長いものであり、該貼付手段の主軸が縦方向になるように方向付けられる。この代替的な実施形態において、貼付手段は、内側フレームのほぼ全高にわたって延びるものとすることができ、又は、代替的に、内側フレームの高さの約 90 % にわたって、又は内側フレームの高さの約 80 % にわたって延びるものとすることができる。

20

【 0 0 2 4 】

容器は、複数の離間した貼付手段を含むものとすることができる。容器は、少なくとも 3 つの離間した固定手段を含むことが好ましい。複数の貼付手段は、縦方向に離間することが好ましい。複数の固定手段は、内側フレームの高さの約 20 % より短い距離で離間するものとすることができ、代替的に、内側フレームの高さの約 15 % より短い距離で離間するものとすることができ、代替的に、内側フレームの高さの約 10 % より短い距離で離間するものとすることができる。

【 0 0 2 5 】

貼付手段の主軸が縦方向になるように貼付手段が方向付けられた代替的な実施形態において、複数の貼付手段は、横方向に離間する。容器が少なくとも 3 つの離間した貼付手段を含む場合、貼付手段は、第 1 及び第 3 の貼付手段が第 2 の貼付手段の両側に均等に配置され、第 2 の貼付手段が内側フレームの中央に配置されるように配列されることが好ましい。

30

【 0 0 2 6 】

内側包装体の後方壁の外面の少なくとも一部を、箱の後方壁の内面の対応する部分に永久的に貼り付けることができる。

【 0 0 2 7 】

貼付手段は内側フレーム上に設けることができる。代替的に又は付加的に、貼付手段は、内側包装体上に設けることができる。貼付手段が内側フレーム上に設けられる場合には、内側フレームの前壁の外面上に設けられることが好ましい。貼付手段が内側包装体上に設けられる場合には、内側包装体の前壁の内面上に設けられることが好ましい。

40

【 0 0 2 8 】

内側包装体の前壁の外面の少なくとも一部を、箱の前壁の内面の対応する部分に永久的に貼り付けることができる。内側包装体の少なくとも一部を箱の前壁に永久的に貼り付けることにより、内側包装体の構造的弾性を更に改善することができる。

【 0 0 2 9 】

内側包装体は、以下の貼付手段、即ち、ホットメルト接着剤、溶剤型接着剤、水性接着剤、無溶剤接着剤、感圧性接着剤、導電型シーリング、及び誘導型シーリングのうちの少なくとも 1 つを用いて永久的に貼付することができる。好ましい実施形態において、貼付手段は、ホットメルト接着剤である。

【 0 0 3 0 】

50

内側フレームは、前壁と一对の対向する側壁とを有するU形状の内側フレームであることが好ましい。ここで“U形状”という用語は、3部分からなり、第1部分と第3部分が互いに平行で、第2部分に直交する同じ方向に延びる形状を意味するものとして使用される。

【0031】

内側フレームの前壁は、内側包装体の前壁に隣接して設けられることが好ましい。表面積が大きい内側フレームを内側包装体の前壁に隣接して設けると、容器の構造強度を増大させるので有利である。内側フレームにより与えられる構造強度の増大により、粘着ラベルのより確実な閉じが可能になる。これは、容器が満杯でないときに、その後の閉じ操作にとって特に有利である。

【0032】

内側フレームは、前壁の上部に切り欠きを含むことが好ましい。切り欠きは、取出し開口に実質的に対応することが好ましく、内側包装体内の消費者商品により容易に触れることができるように設けられる。内側フレームが切り欠きを含む場合、内側フレームの高さは、内側フレームの底から切り欠きまでの距離として定められる。

【0033】

内側フレームは、補強手段を含むことができる。補強手段は、貼付手段を含み、貼付手段が内側フレーム及び内側包装体を補強することが好ましい。代替的に、補強手段は、内側フレームの製造に用いられたのと同様の厚紙のような材料の、内側フレームに貼り付けられた少なくとも一層を含むものとしてすることができる。この代替手法において、該少なくとも一層の更なる材料層は、内側フレームに永久的に貼り付けられる。該少なくとも一層の更なる材料層は細長いものであることが好ましい。内側フレームがU形状の場合、該少なくとも一層の材料層は、内側フレームの前壁の外面に貼り付けられることが好ましい。該少なくとも一層は、内側フレームの上部に隣接して貼り付けられることが好ましい。

【0034】

取出し開口を覆うために設けられた粘着ラベルは、再シール可能な粘着剤を含んでおり、該粘着ラベルを何回も内側包装体の表面から剥がして、再取付けすることができる。この構成は、内側包装体を繰り返し開閉して、消費者商品に個別に触れることを可能にする。粘着ラベル上の再シール可能な粘着剤は、内側包装体内にある消費者商品の数と少なくとも同じ回数だけ再取付けされるために、ラベルに十分な粘着性を与えるものであることが好ましい。これにより、消費者は容器が空になるまで内側包装体を開けて再シールすることが可能になる。

【0035】

再シールに相応しい粘着剤は、当業者ではよく知られているはずであり、種々異なる粘着剤を、多くの供給者から商業的に入手することができる。好ましい粘着剤の選択は、使用時に粘着ラベルによりシールされるか又は再シールされる内側包装体を形成する材料に依存する。

【0036】

粘着ラベルは、粘着剤を有さない面を含むことが好ましく、この粘着剤を有さない面は、内側包装体の取出し開口のサイズに実質的に対応する。蓋が閉位置にあり、粘着ラベルが内側包装体に対してシールされているとき、この粘着剤を有さない面は、内側包装体における取出し開口を覆う。これは、埃又は微小粒子、例えば煙草粉又はその他の包装体内の消費者商品由来の残留物が粘着ラベルに付着することを防ぐことになる。この付着は、粘着ラベルが内側包装体内の消費者商品と接触した場合に生じる可能性がある。

【0037】

内側包装体の取出し開口は、内側包装体における1又はそれ以上の破断線によって定めることができる。この実施形態において、1又はそれ以上の破断線は、内側包装体の取出し部分を定める。内側包装体に取出し部分を定めることにより、最初に容器を開く前においては、内側包装体は、より確実にシールされた状態にあるものとしてすることができる。これにより、容器内に収納された消費者商品の保存寿命を延ばすことができる。この実施形

10

20

30

40

50

態において、粘着ラベルは、１以上の破断線によって境界を定められた内側包装体の取出し部分に永久的に貼り付けられる、該粘着ラベルの内面の更なる領域を含むことが好ましい。最初に外側ハウジングの蓋を開いた時、内側包装体の取出し部分が該１又はそれ以上の破断線に沿って内側包装体の残りの部分から部分的に切離され、その後の外側ハウジング蓋の開閉の際には、内側包装体の取出し部分が内側包装体の残りの部分に取付けられたままの状態に留まるようにすることが好ましい。粘着ラベル内面の第１領域に設けられた再シール可能な粘着剤が内側包装体の取出し部分の周縁のほぼ全体に延びるようにすることができる。

【００３８】

粘着ラベルは、少なくとも一領域内で、内側包装体に永久的に貼付けされることが好ましい。粘着ラベルは、該粘着ラベルの周縁のほぼ全体の周りに延びた接続部分によって内側包装体に永久的に貼付けされることが、より好ましい。該接続部分は、取出し部分の縁部に隣接した粘着ラベルの縁部に沿って粘着ラベルに接続される。接続縁部は、内側包装体の上部の後方に向かって配置されることが好ましい。

【００３９】

ここで使用される“前”、“後”、“上方”、“下方”、“上部”、“底部”、及び“側部”という用語は、外側ハウジング蓋が閉位置にあり、容器後方にヒンジ線がある状態で、容器を垂直に立てた場合における、本発明による容器の各部及び構成要素の相対的位置を表すものである。本発明による容器を説明する場合には、説明される容器の方位に関係なく、これらの用語が使われる。容器の後壁は、ヒンジ線を含む壁である。

【００４０】

“縦方向”という用語は、底部から上部の方向、又はその逆を意味する。“横方向”という用語は、縦方向と直交する方向を意味する。

【００４１】

ここで、“高さ”という用語は、粘着ラベルが内側包装体に貼り付けられたときの縦方向で測定した粘着ラベルのそれぞれの部分の寸法を意味する。“幅”という用語は、粘着ラベルが内側包装体に貼付けされたときの横方向で測定した粘着ラベルのそれぞれの部分の寸法を意味する。

【００４２】

容器は、２つの広幅の壁が２つの狭幅の壁によって間隔を離して位置させられた長方形平行六面体であることが好ましい。

【００４３】

蓋と箱とが、ヒンジ線に沿って接続されていることが好ましい。

【００４４】

“ヒンジ線”という用語は、容器を開くために、蓋がその回りにピボット回転する線を意味する。ヒンジ線は、例えば、容器の後壁を形成するパネルにおける曲折げ線か、切込み線とすることができる。

【００４５】

容器は、適していればどのような材料からも形成することができ、これらの材料には、厚紙、板紙、プラスチック、金属、又はこれらの組合せが含まれるが、これらに限定されるものではない。外側ハウジングは、１又はそれ以上の曲折げた薄板状厚紙素材からそれぞれ形成することが好ましく、厚紙素材の重量は、約 100 g/m^2 から 350 g/m^2 の間であることが好ましい。

【００４６】

内側包装体は、金属箔又は金属被覆紙から形成することが好ましい。内側包装体の材料は、金属被覆したポリエチレンフィルムとライナー材料の積層体として形成することができる。ライナー材料は、スーパー仕上げのグラシン紙とすることができる。更に、内側包装体の材料は、印刷可能な上面被覆を備えていても良い。

【００４７】

上述したように、本発明による容器は、直角な縦方向縁部と、直角な横方向縁部を有す

10

20

30

40

50

る長方形の六面体形状とすることができる。代替的に、容器は、１又はそれ以上の丸みをもった縦方向縁部、丸みをもった横方向縁部、斜形状の縦方向縁部、又は斜形状の横方向縁部、又はこれらの組合せを備えるものとしてもよい。本発明による容器は、限定する意味ではないが、例えば、

- 前壁に一個又は二個の丸みを持った又は斜形状の縦方向縁部を備え、及び／又は、後壁に一個又は二個の丸みをもった又は斜形状の縦方向縁部を備える。

- 前壁に一個又は二個の丸みをもった又は斜形状の横方向縁部を備え、及び／又は、後壁に一個又は二個の丸みをもった又は斜形状の横方向縁部を備える。

- 前壁に一個の丸みをもった縦方向端と一個の斜形状の縦方向縁部を備え、及び／又は、後壁に一個の丸みをもった横方向縁部と一個の斜形状の横方向縁部を備える。

- 前壁に一個又は二個の丸みをもった或いは斜形状の横方向縁部を備え、前壁に一個又は二つの丸みをもった或いは斜形状の縦方向縁部を備える。

- 第１側壁に二個の丸みをもった或いは斜形状の縦方向縁部を備え、又は第２側壁に二個の丸みをもった或いは斜形状の横方向縁部を備える。

ものとすることができる。

【００４８】

容器が、１又はそれ以上の斜形状の縁部を備える場合には、この斜形状の縁部の幅は約１mmと約１０mmとの間であることが好ましく、約２mmと約６mmとの間であることがより好ましい。代替的に、容器は、容器端に２つの明瞭な斜形状部分が形成されるように、互いに間隔をもって位置する３つの平行な折り目線又は切込み線によって形成される二重斜形状部分を含むことができる。

【００４９】

代替的に、容器は、非長方形、例えば、三角形又は六角形のような多角形、半楕円形又は半円形の横断面を備えるものであってもよい。

【００５０】

本発明の容器は、例えば紙巻煙草、葉巻、細巻き煙草のような細長い喫煙用品の容器として格別の用途を有する。本発明による容器は、その寸法を適切に選択することにより、通常のサイズ、キングサイズ、スーパーキングサイズ、スリム又はスーパースリム煙草の違った本数に対して設計できることが理解されるであろう。代替的に、他の消費者用商品が容器に収納されるように変更することもできる。

【００５１】

本発明による容器は、その寸法の適切な選択により、異なる総数の喫煙用品、又は異なる配列の喫煙用品を保持できるように設計することができる。例えば、本発明による容器は、その寸法の適切な選択により、総数が１０本から３０本の間の喫煙用品を保持するように設計することができる。

【００５２】

喫煙用品は、該喫煙用品の総数に応じて、異なる揃え方に配列することができる。例えば、喫煙用品は、６本、７本、８本、９本又は１０本からなる単一の列に配列することができる。代替的に、喫煙用品は、二列又はそれより多い列に配列してもよい。これらの二列又はそれより多い列は、同じ数の喫煙用品を含むものとすることができる。例えば、喫煙用品は、５本、６本、７本、８本、９本又は１０本からなる二列、５本又は７本からなる三列、或いは４本、５本又は６本からなる四列に配置することができる。代替的に、二列又はそれより多い列において、少なくとも二列が互いに違う数の喫煙用品を含むようにしてもよい。例えば、喫煙用品は、５本の列と６本の列（５－６）、６本の列と７本の列（６－７）、７本の列と８本の列（７－８）、中央が５本の列であり、その両側が６本の列（６－５－６）、中央が５本の列で、両側が７本の列（７－５－７）、中央が６本の列で両側が５本の列（５－６－５）、中央が６本の列で両側が７本の列（７－６－７）、中央が７本の列で両側が６本の列（６－７－６）、中央が９本の列で両側が８本の列（８－９－８）、又は中央が６本の列で、その一方側が５本、反対側が７本の列（５－６－７）に配列することができる。

【 0 0 5 3 】

本発明による容器は、同じ形式又は同じ銘柄の喫煙用品、又は異なる形式又は異なる銘柄の喫煙用品を保持することができる。更に、フィルターレスの喫煙用品と種々のフィルターチップ付き喫煙用品、並びに、異なる長さ（例えば約 40 mm と約 180 mm の間）、異なる直径の喫煙用品（例えば約 4 mm と 9 mm の間）を収納するようにしてもよい。更に、喫煙用品は、味の強さ、吸引抵抗、微粒子物質放出総量の異なるものでもよい。容器寸法は、喫煙用品の長さ及び喫煙用品の配列に適合するものとされることが好ましい。典型的には、容器の外形寸法は、容器に収納される喫煙用品の束の寸法より約 0.5 mm から約 5 mm の間の寸法だけ大きいものとする。

【 0 0 5 4 】

本発明による容器の長さ、幅及び奥行きは、蓋の閉位置において、結果としてできる容器全体寸法が、典型的な紙巻煙草 20 本入りヒンジ蓋付廃棄型バックの寸法と類似するようにできる。

【 0 0 5 5 】

本発明による容器は、高さを容器の底壁から上壁までとして測定した場合において、高さが、約 60 mm から約 150 mm までの間であることが好ましく、約 70 mm から約 125 mm までの間であることが更に好ましい。

【 0 0 5 6 】

本発明による容器は、幅を容器の一方の側壁から他方の側壁までとして測定した場合において、幅が約 12 mm から約 150 mm までの間であることが好ましく、約 70 mm から約 125 mm の間であることが更に好ましい。

【 0 0 5 7 】

本発明による容器は、奥行きを容器（箱と蓋の間のヒンジを含む）の前壁から後壁までとして測定した場合において、奥行きが約 6 mm から約 150 mm までの間であることが好ましく、約 12 mm から約 25 mm までの間であることが更に好ましい。

【 0 0 5 8 】

容器の奥行きに対する容器の高さの割合は、約 0.3 : 1 から約 10 : 1 までの間であることが好ましく、より好ましくは、約 2 : 1 から約 8 : 1 までの間、最も好ましくは約 3 : 1 から 5 : 1 までの間である。

【 0 0 5 9 】

容器の奥行きに対する容器の幅の割合は、約 0.3 : 1 から約 10 : 1 までの間が好ましく、約 2 : 1 から約 8 : 1 までの間がより好ましく、約 2 : 1 から 3 : 1 までの間が最も好ましい。

【 0 0 6 0 】

外側スリーブの箱の後壁高さに対する蓋の後壁高さの割合は、約 0 : 1（蓋が容器の upper 端に配置される）から約 1 : 1 までの間が好ましく、約 1 : 5 から約 1 : 10 までの間がより好ましく、約 1 : 6 から約 1 : 8 までの間が最も好ましい。

【 0 0 6 1 】

外側スリーブの箱の前壁高さに対する蓋の前壁高さの割合は、約 1 : 0（蓋が前壁全体を覆う）から約 1 : 10 までの間が好ましく、約 1 : 1 から約 1 : 5 までの間がより好ましく、約 1 : 2 から 1 : 3 までの間が最も好ましい。

【 0 0 6 2 】

容器が喫煙用品を収納するものである場合には、容器は、更に廃棄物区画（例えば、灰、又は吸殻のためのもの）又は、例えばマッチ、ライター、消火手段、口臭清新剤又は、電子器具といった他の消費者商品を含むことができる。他の消費者商品は、容器の外側に取り付けてもよく、喫煙用品と共に、容器の別の区画の中に収納してもよく、またこれらを組み合わせてもよい。

【 0 0 6 3 】

本発明による容器の外面には、製造業者又は銘柄ロゴ、商標、スローガンその他消費者情報又は記号を、印刷、エンボス、デボスその他の方法で装飾表示することができる。

10

20

30

40

50

【 0 0 6 4 】

本発明による容器は、喫煙用品が装填された状態で、例えば高密度または低密度のポリエチレン、ポリプロピレン、配向性ポリプロピレン、ポリ塩化ビニル、セルロースフィルム、又は、それらの組み合わせからなる透明重合体フィルムにより、通常の手法で、収縮包装その他により外包装することができる。本発明による容器が外包装される場合には、外包装材は、１又はそれ以上の引裂きテープを含むことができる。更に外包装材には、画像、消費者向け情報その他のデータを印刷することができる。

【 0 0 6 5 】

本発明の一態様におけるいかなる特徴も、本発明の他の態様に、いずれかの適切な組合せで適用することができる。具体的には、方法の態様を装置の態様に適用することができ、逆もまた同様である。更に、一態様におけるいずれかの、幾つかの及び／又は全ての特徴を、いずれかの他の態様におけるいずれかの、幾つかの及び／又は全ての特徴に、いずれかの適切な組合せで適用することができる。

10

【 0 0 6 6 】

本発明のいずれの態様についても、記載され又は定義された種々の特徴の特別な組み合わせが、個別に実施され及び／又は与えられ、及び／又は、用いられることも理解されるであろう。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 6 7 】

本発明は、例示のみとして、以下の図面を参照してさらに説明される。

20

【 図 1 】 蓋が開位置にある容器の一実施形態の斜視図である。

【 図 2 】 図 1 に示す容器の側面図である。

【 図 3 a 】 内側包装体に用いられる素材片の例を示す。

【 図 3 b 】 内側フレームに用いられる素材片の例を示す。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 6 8 】

図 1 は、消費者商品用の容器 1 0 0 を示す。該容器は、箱 1 0 2 と、該箱にヒンジ線（図示せず）を介して結合した蓋 1 0 4 とを含む。ヒンジ線は、容器 1 0 0 の後ろを横切って延びており、蓋が開位置から図 1 に示す開位置まで移動することを可能にする。内側包装体 1 0 6 は、箱 1 0 2 の中に収容され、取出し開口を含む。内側包装体 1 0 2 は、容器が最初に関開けられる前において消費者商品を気密シールするために、バリアー材料で作られている。バリアー材料は、金属箔又は金属被覆紙とすることができる。

30

【 0 0 6 9 】

内側包装体において内側包装体の取出し開口が破断線により形成されており、従って、容器が最初に関開けられるまで、内側包装体は消費者商品のシールされた包装体を形成する。最初に関開けた後、内側包装体を再シールすることを可能にするために、粘着カバーラベル 1 0 8 が設けられ、取出し開口が覆われることができるようにされる。粘着カバーラベルは、内側包装体に、上部後方の角部に隣接して永久的に貼り付けられる。これに加えて、粘着ラベルは、取出し開口を囲む破断線によって定められた内側包装体の外面の取出し部分に永久的に貼り付けられ、従って、粘着ラベルを開位置から開位置に動かすと内側包装体の取出し開口が現れる。粘着ラベルには、取出し開口の周縁に隣接した領域 1 0 9 に再シール可能な粘着剤も設けられ、粘着ラベルを内側包装体の外面に何回も再シールすることができるようになっている。

40

【 0 0 7 0 】

消費者商品は、内側包装体 1 0 6 内に入れられる。図から分かるように、粘着ラベル 1 0 8 は、蓋 1 0 4 の下縁部 1 1 0 に接続される。粘着ラベルを蓋に接続することにより、粘着ラベルは、蓋を開位置から開位置に動かしたときに内側包装体から自動的に剥がされ、消費者商品に触れることができるようになる。同様に、蓋を開位置から閉位置に動かしたとき、粘着ラベルは、内側包装体に自動的に再シールされる。

【 0 0 7 1 】

50

粘着ラベル 108 が内側包装体から剥がされること、及び、特に内側包装体に再シールされることに伴う力に対する内側包装体 106 の弾性を高めるために、内側フレーム 112 が内側包装体 106 内に設けられる。内側フレーム 112 は、前壁と 2 つの対向する側壁とを備えた U 形状の要素である。該前壁は、内側包装体の前壁に隣接して設けられる。図から分かるように、内側フレームは、内側包装体 106 内の取出し開口の形状に対応する切り欠き 114 を含む。内側フレーム内の該切り欠きは、より容易に消費者商品に触れることができるようにする。

【0072】

内側包装体の弾性を更に高めるために、補強要素 114 が内側包装体と内側フレームとの間に設けられる。補強要素 114 は、内側包装体の剛性を高める役割を果たし、従って、該内側包装体は、容器の蓋を閉めることに伴う力に対してより良く抵抗することができるようになる。補強要素については、後で更に詳細に説明する。

【0073】

図 2 は、やはり蓋が開位置にある容器 100 の側面図を示す。内側包装体 106 は、外側ハウジング箱 102 の中に示されており、内側フレーム 112 が内側包装体の中に示されている。粘着カバーラベルは、蓋 104 に取り付けられた状態で示されている。開位置において、粘着カバーラベルは、S 形状を形成している。容器の幾何学形状は、蓋がこの開位置から閉位置に移動したときに粘着ラベルが内側包装体に自動的に再シールされるようなものとされる。図から分かるように、補強要素 116 は、内側フレームと内側包装体との間に配置される。

【0074】

補強要素 114 は、細長いものであり、該要素の主軸が容器の横方向になるように配置されている。該要素は、内側フレームの上部にほぼ隣接して、該上部からの距離が、内側フレームの底から切り欠きまでの全高の約 10 % になるところに配置されている。補強要素は、内側フレームを内側包装体に接合するホットメルト接着剤などの接着剤である。内側フレームを内側包装体に接合することで、内側フレームと内側包装体との組合せの剛性が、互いに接合されていない場合の内側フレームと内側包装体との組合せと比べて高められる。内側フレームと内側包装体とが複合材料を形成するので、剛性が、従って閉じプロセス中に内方に変形することに対する抵抗が、高められる。更に、この追加した接着剤材料は、内側包装体の剛性を高める。

【0075】

図 3 (a) 及び図 3 (b) は、それぞれ、組立前の内側包装体及び内側フレームを示す。図 3 (a) に示す組立前の内側包装体 300 は、前壁パネル 302 と、組み立てたときに内側包装体の後壁パネルを形成する 2 つの壁パネル 304 及び 306 と、上壁パネル 308 と、底壁パネル 310 とを含む。組立前の内側包装体 300 は、複数の側壁パネルも含む。図から分かるように、上壁パネル 308 及び前壁パネル 302 の部分を横切って、取出し部分 312 が設けられる。上述のように、取出し部分は、後方折曲げ線 314 に沿って内側包装体に永久的に取り付けられており、取出し部分の残りの周縁部の周りで破断線により該内側包装体に切取り可能に接続されている。接着剤の細長いラインの形態の補強手段 316 が、組立前の内側包装体の前壁パネルの内面に設けられる。接着剤 316 は、内側フレームに永久的に接着されるようにされる。更に別の細長い接着剤のライン 318 を内側包装体の後方壁パネルの外面に設けて、該内側包装体が容器の箱に永久的に貼り付けられることを可能にすることができる。

【0076】

図 3 (b) は、組立前の内側フレーム 320 を示す。上述のように、内側フレームは、前壁パネル 322 と、2 つの対向する側壁パネル 324 及び 326 とを含む。前壁パネル 322 の外面に、補強要素 328 が設けられる。上述のように、補強要素 328 は、接着剤の細長いラインであり、容器が組み立てられたときに内側フレームの前壁の外面を内側包装体の前壁パネルの内面に永久的に貼り付けるようになっている。それに加えて、上述のように、内側フレームの前壁パネルの上部に切り欠き 330 が設けられる。該切り欠き

10

20

30

40

50

は、容器内に収容された消費者商品により容易に触れることができるように設けられる。該切り欠きは、内側フレームが内側包装体内にあるときに該内側包装体に設けられた取出し開口に位置合わせされるように設けられる。図から分かるように、補強要素 328 は、切り欠きから距離 y のところに設けられる。好ましい実施形態において、距離 y は、内側フレームの全高 x におよそ 10 % である。

【0077】

上記の図において、破線は折り曲げ線を表す。

【符号の説明】

【0078】

100	容器	10
102	箱	
104	蓋	
106	内側包装体	
108	粘着ラベル	
112	内側フレーム	
116	補強要素	
300	組立前の内側包装体	
302	前壁パネル	
304、306	後壁パネルを形成する壁パネル	
308	上壁パネル	20
310	底壁パネル	
314	折曲げ線	
320	組立前の内側フレーム	
330	切り欠き	
322	前壁パネル	
324、326	側壁パネル	

【 図 1 】

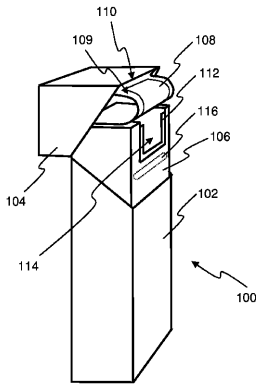


Figure 1

【 図 2 】

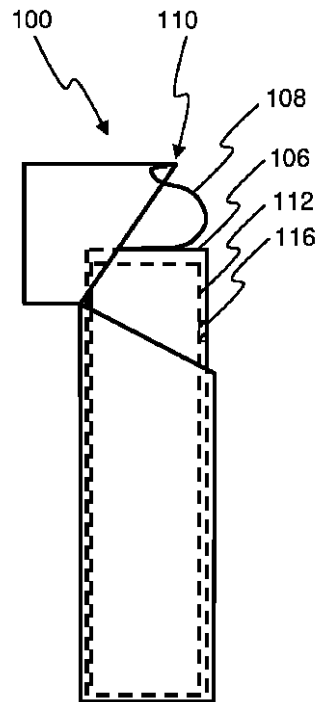


Figure 2

【 図 3 (a) 】

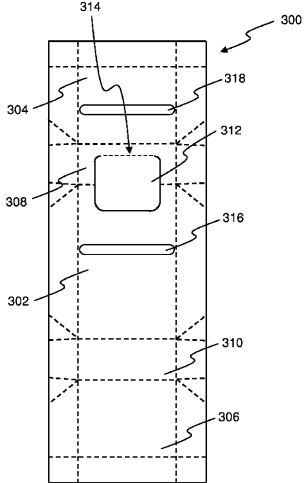


Figure 3(a)

【 図 3 (b) 】

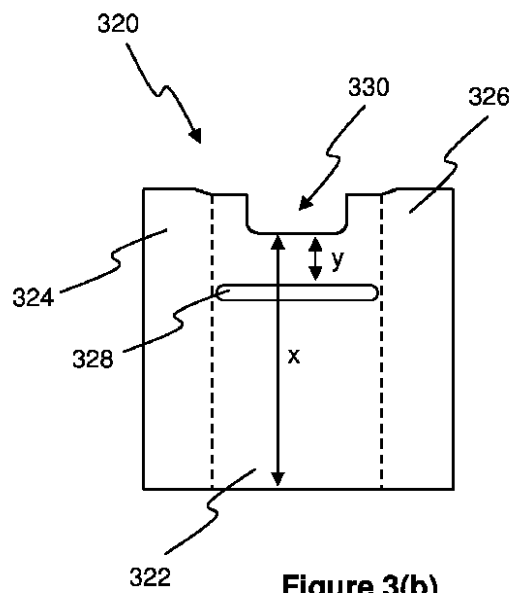


Figure 3(b)

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No

PCT/EP2013/052905

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

INV. B65D85/10
ADD.

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65D

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

EPO-Internal

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	WO 2011/009520 A1 (FOCKE & CO [DE]; SCHOENBERGER HANS [DE]; BUSE HENRY [DE]) 27 January 2011 (2011-01-27) page 4, line 12 - page 8, line 31; figures 1-6	1-11,14, 15
Y	----- EP 2 366 637 A1 (GD SPA [IT]) 21 September 2011 (2011-09-21) paragraph [0016] - paragraph [0025]; figures 1-4	1-11,14, 15
Y	----- EP 0 650 907 A1 (FOCKE & CO [DE]) 3 May 1995 (1995-05-03) column 2, line 37 - line 44; figures 1,2,4	1-11,14, 15

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

8 May 2013

Date of mailing of the international search report

24/07/2013

Name and mailing address of the ISA/

European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2
NL - 2280 HV Rijswijk
Tel. (+31-70) 340-2040,
Fax: (+31-70) 340-3016

Authorized officer

Vesterholm, Mika

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/EP2013/052905**Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of Item 2 of first sheet)**

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:

2. ☐ Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:

3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of Item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

see additional sheet

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.

2. ☐ As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fees, this Authority did not invite payment of additional fees.

3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:

4. ☒ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:
1-11, 14, 15

Remark on Protest

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest and, where applicable, the payment of a protest fee.
- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest but the applicable protest fee was not paid within the time limit specified in the invitation.
- ☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

International Application No. PCT/ EP2013/ 052905

FURTHER INFORMATION CONTINUED FROM PCT/ISA/ 210

This International Searching Authority found multiple (groups of) inventions in this international application, as follows:

1. claims: 1-11, 14, 15

How to affix an inner part of a package to an outer part of the package

2. claims: 12, 13

How to provide an opening in a package

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/EP2013/052905

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
WO 2011009520 A1	27-01-2011	DE 102009034705 A1 EP 2456685 A1 WO 2011009520 A1	27-01-2011 30-05-2012 27-01-2011
EP 2366637 A1	21-09-2011	EP 2366637 A1 JP 2011251766 A US 2012006823 A1	21-09-2011 15-12-2011 12-01-2012
EP 0650907 A1	03-05-1995	BR 9200981 A CA 2063676 A1 DE 4109702 A1 EP 0507112 A2 EP 0650907 A1 ES 2074751 T3 ES 2108925 T3 JP 2525994 B2 JP H05112350 A US 5307925 A US 5392905 A	17-11-1992 24-09-1992 24-09-1992 07-10-1992 03-05-1995 16-09-1995 01-01-1998 21-08-1996 07-05-1993 03-05-1994 28-02-1995

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC

(74)代理人 100109335

弁理士 上杉 浩

(74)代理人 100120525

弁理士 近藤 直樹

(74)代理人 100167911

弁理士 豊島 匠二

(72)発明者 セイファース デ オリヴェイラ ダニエル

ブラジル 8 2 8 0 0 - 0 9 0 クリチバ ギリエルメ トラガンテ 2 8 4

Fターム(参考) 3E060 AA03 AB32 BA01 BB01 BC04 CD04 DA11 DA13 EA20

3E067 AA14 AB99 AC03 AC12 BA05C BA06C BA15B BB01B BB01C BB11B

BB11C BB14B BB14C BB15B BC04B BC06C DA08 EA01 EA33 EB22

EB25 EE02 EE38 GA30

3E068 AC02 BB02 BB08 CC02 CC05 CE01 CE02 CE03 CE05 CE08

DD04 DD06 DD08 DD31 DE02 DE03 DE04 DE05 DE06 DE08

DE16 DE18 EE32